ートルとする。

3　密度補正Ⅲに用いる密度は、次の算式により算定した数（小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。

算式

$$58.024 \times B - \frac{27{,}735 \times A \times C \times D / 100{,}000}{11.5 \times A}$$

58.024×Bが27,735×A×C×D／100,000に2を乗じて得た数を超える場合は58.024×Bを27,735×A×C×D／100,000×2とし、58.024×Bが27,735×A×C×D／100,000に0.5を乗じて得た数を下回る場合は58.024×Bを27,735×A×C×D／100,000×0.5とし、C×Dに小数点以下3位未満の端数がある場合はその端数を四捨五入し、58.024×B、27,735×A×C×D／100,000、11.5×A及び27,735×A×C×D／100,000×0.5に整数未満の端数がある場合はその端数を四捨五入する。

算式の符号

A　測定単位の数値

B　当該市町村の標準額支払団員数

C　段階補正係数

D　密度補正Ⅰ係数

4　標準額支払団員数は、「令和四年度標準額支払団員数の調査について（照会）」（令和四年三月二十四日付け消防地第二百三十一号消防庁地域防災室通知）に基づいて消防庁に報告された「標準額支払団員数（人）」の数とする。第四十九条第三項第三号において同じ。

1　密度補正に用いる密度は、次の算式により算定した数（小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。

算式

$$(B \times \underline{5.41} + C \times \underline{10.81} + D \times \underline{15.41} + E \times \underline{21.89} + F \times \underline{21.68} + G \times \underline{20.27} + H \times \underline{20.98} + I \times \underline{22.92} + J \times \underline{31.36} + K \times \underline{15.05} + L \times \underline{29.16} + M \times \underline{23.83} + N \times \underline{17.25} + O \times \underline{26.65}) \div A$$

［略］

［2　略］

| 二　下水道費 | 人口 |
|---|---|

ートルとする。

1　密度補正に用いる密度は、次の算式により算定した数（小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。

算式

$$(B \times \underline{5.16} + C \times \underline{10.22} + D \times \underline{14.09} + E \times \underline{20.18} + F \times \underline{19.61} + G \times \underline{19.36} + H \times \underline{19.61} + I \times \underline{20.96} + J \times \underline{30.04} + K \times \underline{14.42} + L \times \underline{27.04} + M \times \underline{22.83} + N \times \underline{16.22} + O \times \underline{26.14}) \div A$$

［同左］

［2　同上］

| 二　下水道費 | 人口 |
|---|---|